

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】 SST G1 Lite2 アップデートインストーラ
【対象製品】 SST G1 Lite2 日本語版
【登録名】 SST G1 Lite2 Ver.3.1.13
【アプリケーション名】 setup.exe
【著作権者】 株式会社カンバス
【動作環境】 Microsoft Windows 8.1 / 10 / 日本語版/ 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver.3.1.13> 2021.9

本バージョンアップによる変更内容

- 1) アップデート前に必ずお読みください
- 2) SSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください
- 3) アップデート後の波形データ削除のお願い：必ずお読みください
- 4) 機能追加・変更
 - 「G1_Lock」で暗号化された映像ファイルを開く
 - 定期バックアップ
 - 開いている映像ファイル名表示
 - 見直し用リスト／申し送りリストに「ルビ」列を追加
 - フォーマット情報の一括削除（字幕情報一括削除）
 - トラックをまたいだ TC 順検索
 - 指定時間以上の字幕の検出（最終チェック）
 - Netflix 用データチェック
 - 「字幕表示時間制限(最低 12 フレーム)」を「字幕表示時間制限(最低 0.5 秒)」に変更
 - その他
- 5) 機能修正
- 6) アップデータのダウンロード
- 7) アップデート手順（Ver3.1.1 未満からのアップデート）
- 8) アップデート手順（Ver3.1.1 以上からのアップデート）
- 9) 再インストール時のチケットに関する注意点
- 10) 再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点
- 11) ドングル更新手順

※本バージョンより動作保証 OS が Windows8.1 以上となりました。

1) アップデート前に必ずお読みください

■アップデート時に出るメッセージについて ※Ver3.1.1未滿をご利用のユーザー様へ

Ver3.1.1未滿(1.1.1または1.1.2)から本バージョンにアップデートする際は、すでにインストールされているSSTG1Lite2をいったんアンインストールする手順が自動的に実行されます。

アップデート(setup.exe)を実行すると「**SSTG1 Lite2がインストールされています。アンインストールを開始してよろしいですか?**」とメッセージが出ますので、[はい]を選択し、アンインストールを開始してください。そのまま手順通り進めると、アップデートが完了します。

なお、ここでアンインストールを実行しても、お客様が設定されたユーザー設定・フォーマット情報・ショートカットキー設定などが消えることはありません。

詳細な手順は 7) アップデート手順(Ver3.1.1未滿からのアップデート) をご覧ください。

■ドングル更新について ※Ver1.1.1をご利用のユーザー様へ

本項目は、**Ver1.1.1をご利用のユーザー様向け**となります。Ver1.1.2以上をご利用のユーザー様はドングル更新は不要です。

ご利用バージョンは[ヘルプ]-[バージョン情報]よりご確認ください。

「SSTG1 Dub」の発売に伴いセキュリティ設定を再構築したため、本バージョンをご利用いただくには必ずドングル更新が必要となります。

ドングル更新をせずに新バージョンを利用した場合、編集機能等主たる機能がご利用できなくなるほか、その他、不具合が発生する可能性がございます。

Ver1.1.1からアップデートされる方は、まずは **11) ドングル更新手順** にてドングル更新をお申し込みください。

ドングル更新後はVer1.1.1で編集作業ができなくなりますので、必ずすべてのパソコンのSSTG1 Lite2を最新バージョンにアップデートして下さい。

お手数をお掛け致しますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※ご注意ください！！

カンバスからのドングル更新用ファイルのご返信は、平日の営業時間内でのご対応となります。弊社休業中に先にソフトのアップデートをされますと、すぐにドングル更新を行えず、その間字幕編集ができませんのでご注意ください。その場合は、一度SSTG1Lite2をアンインストールし、Ver1.1.1を再インストールしてください。

2) SSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください

本バージョンでは再生機構のアップデートを行っております。このアップデートは SSTG1Dub にも影響します。SSTG1Dub を同一 PC でご利用のお客様は、必ず SSTG1Dub も Ver1.1.8 以上 にアップデートしていただきますようお願いいたします。片方だけをアップデートしてしまうと、アップデートしていないソフトでの映像再生に不具合が生じます。

3) アップデート後の波形データ削除のお願い：必ずお読みください

本バージョンでは再生機構のアップデートを行っております。このアップデートにより、従来より正確な波形データを生成するよう改善されました。このため従来のバージョンで生成した波形データを一度削除し、本バージョンで波形データの生成をし直してください。

【波形データの再生成方法】

※映像ファイルは開かない状態で行ってください

- ①[設定]→[ユーザー設定]→[メンテナンス]タブ [波形データファイルの保存先フォルダ]のフォルダを開くボタンをクリックして波形データの保存先フォルダを開いてください。
- ②[Normal]フォルダを削除するか、切り取りで別のフォルダに移動させて下さい。
※[DSMode]フォルダは削除不要です。
- ③映像を開き直すと波形データが自動生成されます。

4) 機能追加・変更

－ 「G1_Lock」で暗号化された映像ファイルを開く機能が追加されました。

SSTG1 専用に暗号化された映像ファイルを開く機能が追加されました。

G1_Lock とは？

「G1_Lock」は、SSTG1 シリーズ専用の映像暗号化ソフトです。クライアントがこのソフトで映像ファイルを暗号化している場合、下記の条件をすべてクリアしていないと映像ファイルを開くことができません。

①SSTG1 シリーズの下記ソフトで開くこと。

- NetSSTG1
- SSTG1Lite2
- SSTG1Pro

※上記以外のソフトでは開くことができません。映像ファイルをダブルクリックしても開けません。

②指定されたユーザーのドングルで起動したソフトで開くこと。

※SSTG1Lite2 であっても、クライアントが指定した翻訳者のドングルで起動していなければ映像は開けません。

③クライアントが指定した PC 台数の範囲内であること。

※暗号化の際、映像を開ける PC 台数が「1 台」と指定されていれば、2 台目以降の PC では開くことができません。

④クライアントが指定した期限内であること。

※暗号化の際、映像を開ける期限が「2021 年 12 月 10 日まで」と指定されていれば、2021 年 12 月 11 日になると開けなくなります。

⑤PC が Windows10 であること。

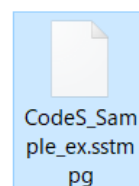
※SSTG1Lite2 自体は Windows8.1 と Windows10 をサポートしていますが、暗号化映像での作業に関しては Windows10 の PC のみサポートとなります。（2021 年 8 月現在）

 暗号化された映像ファイルの拡張子は、最初に「sst」が付き、下記のようになります。

アイコンは真っ白になります。

[例]○○○.mpg → ○○○.sstmpg

○○○.mp4 → ○○○.sstmp4



【「G1_Lock」で暗号化された映像ファイルの開き方】

上記条件をクリアしていれば、通常の映像ファイルを開く時と手順はまったく同じです。

●定期バックアップ

従来の上書き保存時のバックアップ機能に加えて、設定した時間ごとに sdb ファイルのバックアップが自動保存されるようになりました。[設定]-[ユーザー設定]の[メンテナンス]タブより設定が行えます。

ユーザー設定

ガイドライン 画面表示 詳細 色 メンテナンス 言語 再生

バックアップファイルの保存先フォルダ
C:\Users\%h-sud%\Documents\SST G1 Lite2\Backup

波形データファイルの保存先フォルダ
C:\Users\%h-sud%\Documents\SST G1 Lite2\Wave

定期バックアップ

保存先フォルダ:
C:\Users\%h-sud%\Documents\SST G1 Lite2\Backup

定期バックアップを行う

バックアップ間隔
 3分毎 5分毎 10分毎

定期バックアップファイルを削除

これまでのバックアップ機能も継続しています。

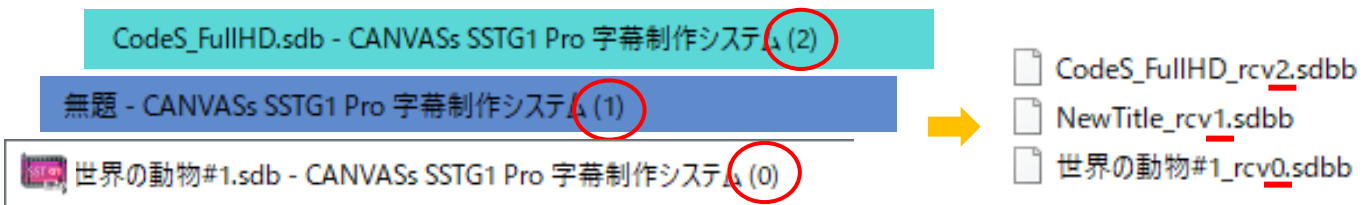
⚠ 設定を変更後はソフトを再起動すると変更が反映されます

「定期バックアップを行う」にチェックを入れていた場合、「バックアップ間隔」で設定した分毎に下記ファイル名のバックアップファイルが「保存先フォルダ」で設定したフォルダに自動保存されます。

定期バックアップファイル名

元の sdb ファイル名 + _rcv + 開いているウィンドウの番号(.sdbb)

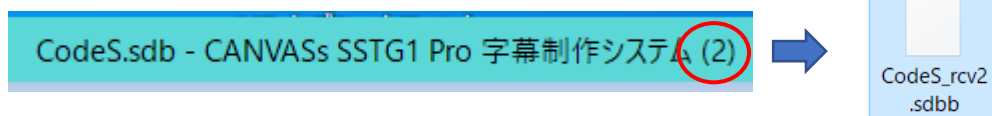
拡張子が変わります



※「名前を付けて保存」をせず「無題」のままのファイルは「NewTitle」として保存されます。

例) 「CodeS」を3番目のウィンドウで開いていた場合

→開いているウィンドウの番号は(0)から始まるため、3番目に開いているウィンドウにはヘッダーに(2)と番号が付きます。



※定期バックアップファイルは一つのsdbファイルに対して一つしか作成されず、設定した分毎に上書きされていきます。従来のバックアップ機能のように履歴を保存することはできません。

※前回の定期バックアップ時からsdbファイルに変更がない場合、定期バックアップファイルの上書き保存は行われません。

[定期バックアップファイルを削除]: クリックすると、定期バックアップの保存先フォルダに指定したフォルダ内にあるすべての.sdbbファイル(定期バックアップファイル)が削除されます。従来のバックアップファイル(.sdb形式)など、他のファイルは削除されません。

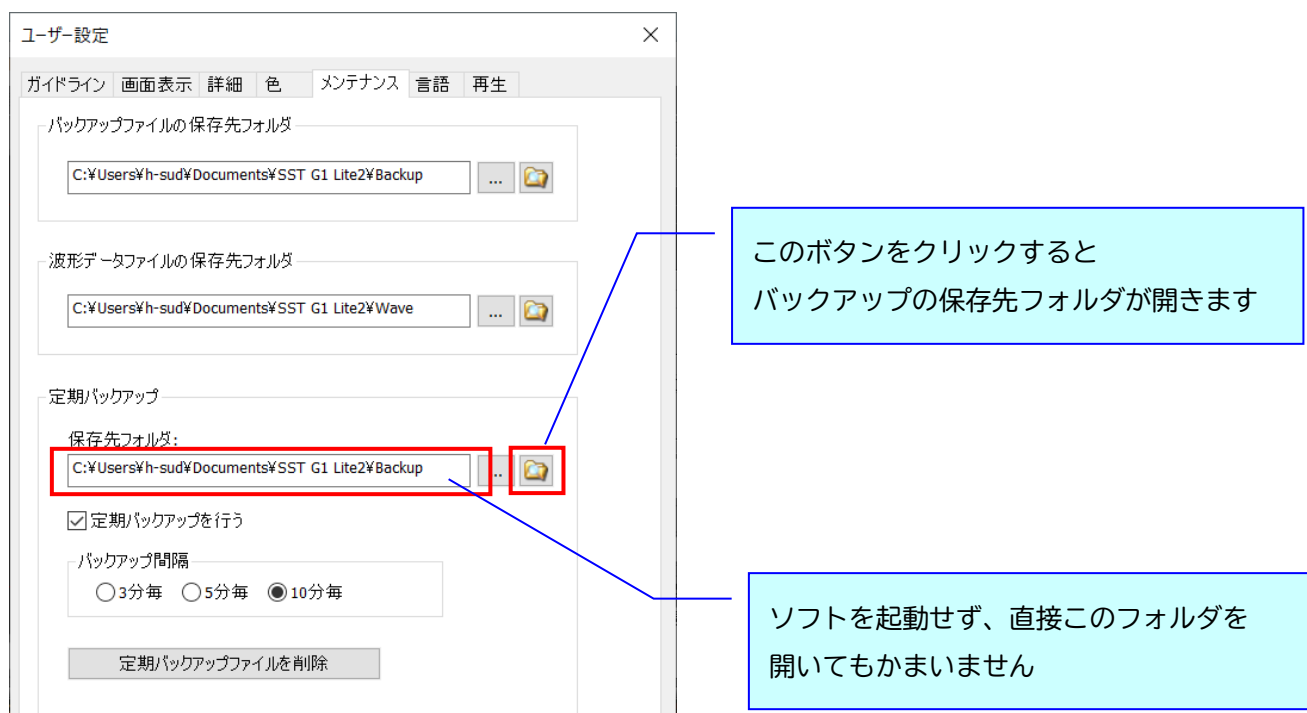
※保存先フォルダを変更した場合、「適用」を押下しないと、この削除ボタンはアクティブになりません。

<定期バックアップファイルの復元方法>

バックアップ保存先フォルダから定期バックアップファイルを任意の場所にコピーし、ファイル拡張子を「.sdb」に変更してください。詳細な手順は下記のとおりです。

1) バックアップファイルの保存先フォルダを開く

[設定]-[ユーザー設定] [メンテナンス]タブの「定期バックアップ」-「保存先フォルダ」に設定しているフォルダを開きます。



このボタンをクリックすると
バックアップの保存先フォルダが開きます

ソフトを起動せず、直接このフォルダを
開いてもかまいません

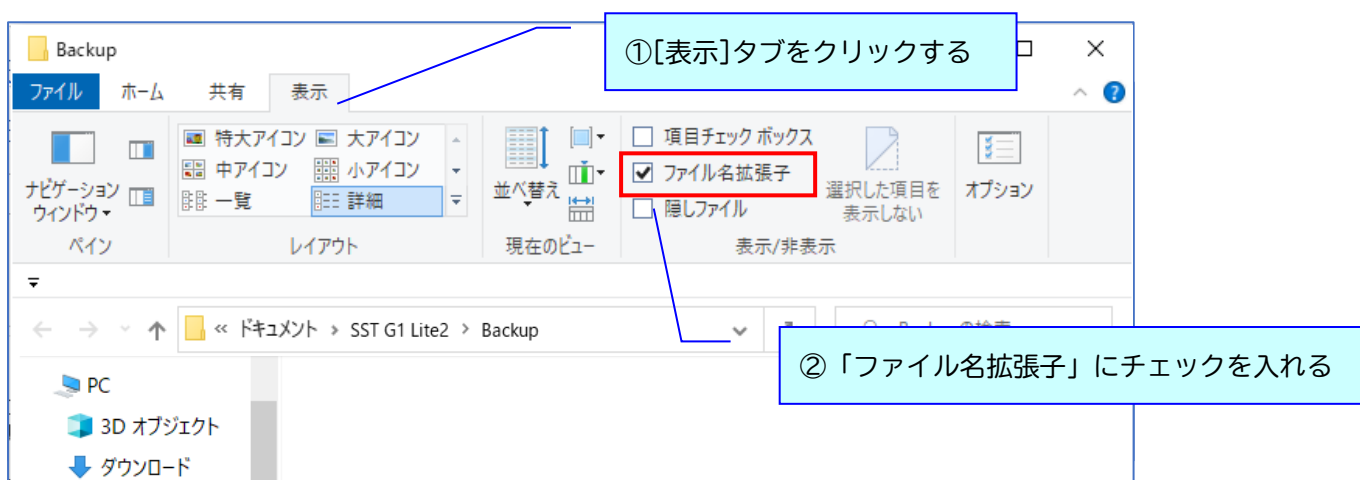
○保存先フォルダについて

デフォルトでは[ドキュメント]-[SST G1 Lite2]-[Backup]フォルダが設定されています。

既存機能のバックアップ保存先と同じフォルダですので、従来のバックアップファイルと定期バックアップファイルは同じ場所に混在することになります。別々の場所に保存したい場合は [...] ボタンをクリックし、フォルダを変更しておいてください。

2) 拡張子を表示させる（すでに表示させている場合は不要です）

バックアップファイルを復元するには拡張子（ファイルの種類を識別するためにファイル名の末尾につけられる .（ドット）の後ろの文字列）を変更する必要があります。拡張子を非表示にしている場合、以下の手順で拡張子を表示させてください。



「ファイル名拡張子」にチェックを入れると、ファイル名の後ろに .（ドット）とアルファベットの文字列が表示されます。

例えば sdb ファイルの拡張子を表示させた場合、右のようにファイル名の後ろに「.sdb」が表示されます。

<拡張子なし>



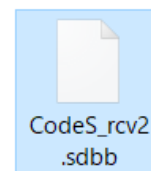
<拡張子あり>



3) 定期バックアップファイルをコピーする

復元したい定期バックアップファイル「元の sdb ファイル名_rcv ウィンドウ番号.sdbb」を任意の場所にコピーします。

定期バックアップファイルは右のように、白抜きアイコンのファイルです。



4) 拡張子を変更する

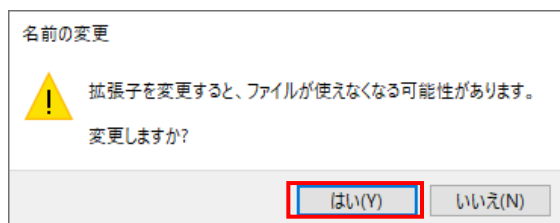
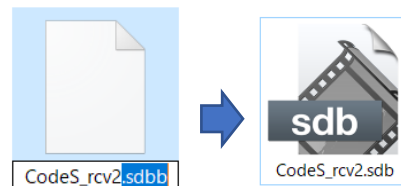
任意の場所にコピーした定期バックアップファイルを右クリックし、「名前の変更」を選択します。

ファイル名の後ろにある拡張子「.sdbb」の「b」をひとつ削除し、拡張子を「.sdb」に変更します。

変更時に「拡張子を変更すると、ファイルが使えなくなる可能性があります。変更しますか？」とメッセージが出た場合は「はい」を選択してください。

拡張子を「.sdb」に変更すると、通常のsdbファイルとなり、SSTG1シリーズで開くことができるようになります。

※ファイル名は任意の名前に変更してかまいません。



⚠ ユーザー設定のリスト追加機能(①)では**[メンテナンス]タブの内容は登録の対象外**です。

バックアップ機能の設定もリストに登録はされません。

また、リストを変更(②)しても、[メンテナンス]タブの内容は変わりません。



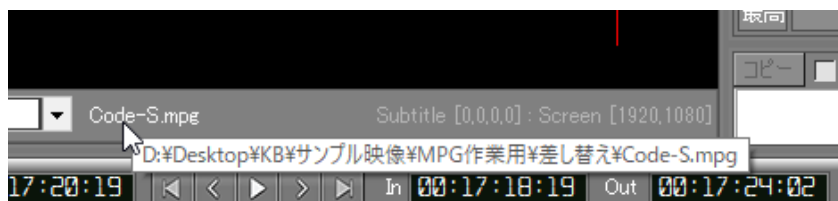
一開いている映像のファイル名と映像ファイルの保存場所が表示されるようになりました。
ビデオウィンドウの下中央に、開いている映像のファイル名が表示されます。また、映像のファイル名にマウスオーバーすると、映像ファイルの保存場所がフルパスで表示されます。



※ウィンドウサイズが小さかったり映像ファイル名が長すぎると、表示しきれない場合があります。
※映像ファイル名は拡張子付きで表示されます。



映像ファイル名にマウスオーバーすると、保存場所がフルパスで表示されます。

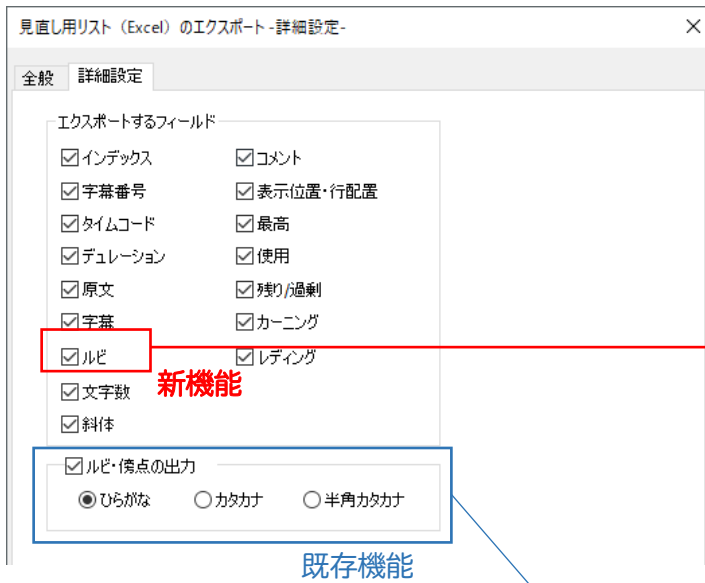


●見直し用リスト (Excel) エクスポート

●申し送りリストエクスポート

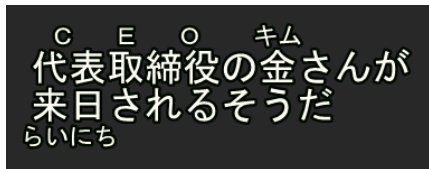
—エクスポートするフィールドに「ルビ」を追加しました。

見直し用リスト (Excel) と申し送りリストのエクスポート画面の[詳細設定]タブ—「エクスポートするフィールド」—「ルビ」にチェックを入れるとルビの列が Excel に出力されます。ルビが複数存在する場合は、／ (全角スラッシュ) で区切って出力されます。



例)

SSTG1 上



Excel 出力結果

字幕	ルビ
CEO 代表取締役の金さんが 来日されるそうだ らいにち	CEO/キム/らいにち

[既存機能]
かなのルビはひらがな、カタカナ、半角カタカナのどれかに統一されます。
(Excel の仕様上の制限による)

[新機能]
ルビの表記通りに出力されます。

Excel のルビ機能の仕様上、1 つのセル内にひらがなとカタカナのルビを混在させることができないため、既存機能の「ルビ・傍点の出力」ではどちらかに統一して出力することしかできず、実際のルビはひらがな/カタカナのどちらなのか、出力したリストでは判別がつきませんでした。

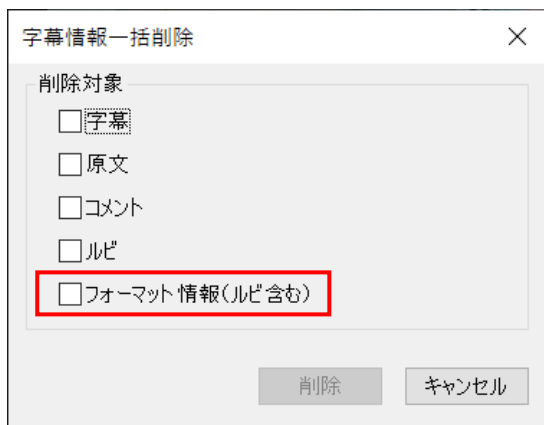
本機能で「ルビ」の列を出力することにより、ひらがなとカタカナが混在したルビでも正確な表記を確認することができるようになります。

⚠ 「字幕」列内のルビは、これまで通りひらがな or カタカナに統一されたままになります。

●字幕情報一括削除

—削除対象に「フォーマット情報（ルビ含む）」を追加しました。

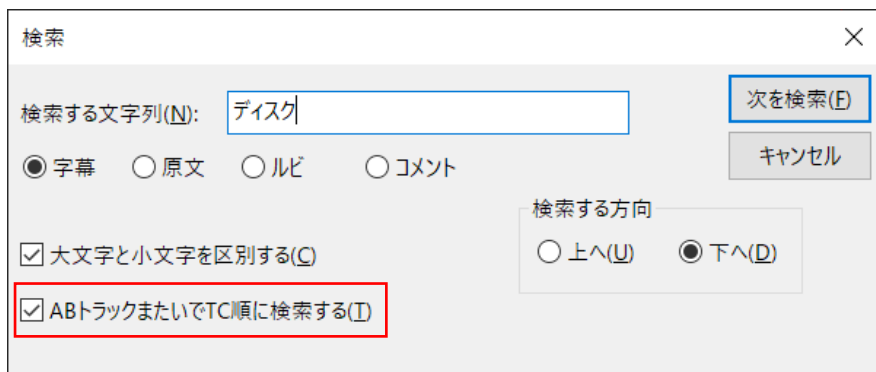
ルビを含めたすべてのフォーマット情報が削除され、デフォルトフォーマットに戻ります。



●検索

—AトラックとBトラックをまたいでタイムコード順に検索できるようになりました。

従来の検索では、Aトラックを末尾まで検索後にBトラックの先頭に戻って検索をしていましたが、「A BトラックまたいでTC順に検索する」にチェックを入れると、トラックに関係なくタイムコード順に検索結果がヒットするようになります。



—検索が一周した際に「検索終了位置に達しました。」とメッセージが出るようになりました。

●最終チェック

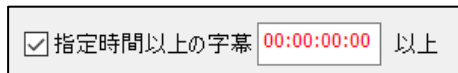
- ー最終チェックの項目に「指定時間以上の字幕」を追加しました。指定した長さを超える字幕を検出します。



チェックする項目	チェック内容	備考
指定時間以上の字幕	「hh:mm:ss:ff」で指定した時間以上の字幕。	

【注意】

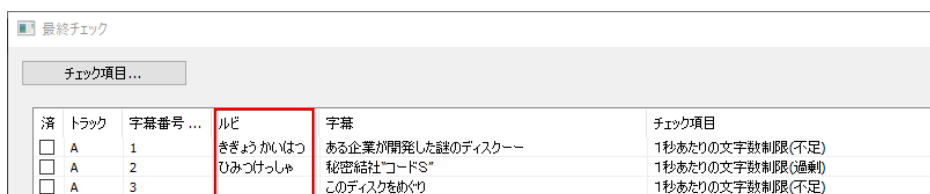
以下の場合、入力していた時間が「00:00:00:00」とリセットされ赤字になります。再度数値を入力し直してください。



- ・異なるフレームタイプの sdb ファイルを開き直した場合
- ・リスト登録時に設定されていたフレームタイプと異なるフレームタイプの sdb を開き、そのリストを選択した場合

ーチェック項目フィルターをエクスポートする際のファイル保存先を指定する「フォルダーの参照」ウィンドウをリサイズできるようになりました。

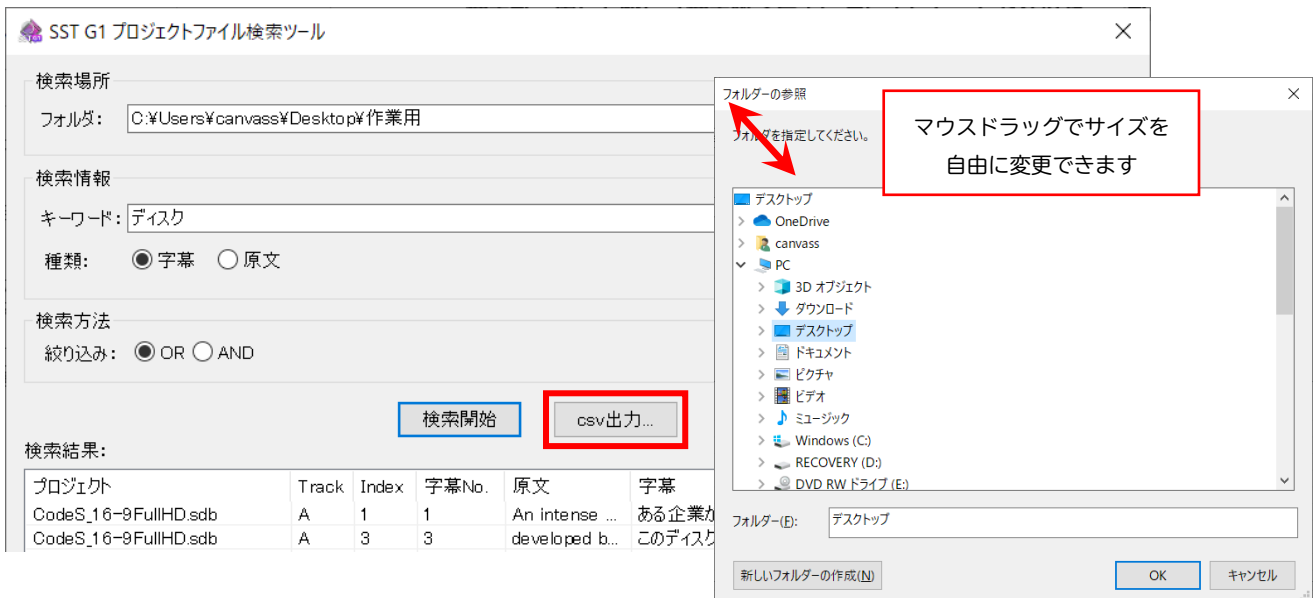
ーこれまで「ルビ有」にチェックがないとチェック結果画面にルビが表示されませんでしたでしたが、チェック項目に関係なくルビが表示されるようになりました。



●sdb 検索

ー検索結果を csv ファイルに出力できるようになりました。

ー検索場所を指定する「フォルダーの参照」ウィンドウがリサイズできるようになりました。



●Netflix 用データチェック

ーNetflix 社の字幕仕様変更に合わせて、チェック項目の「字幕表示時間制限(最低 12 フレーム)」を「字幕表示時間制限(最低 0.5 秒)」に変更しました。また、動作を「警告」から「エラー」に変更しました。

これまでは、プロジェクトのフレームレートに関係なく 12 フレーム未満の字幕をチェックしていましたが、本バージョンからプロジェクトのフレームレートに合わせて 0.5 秒未満の字幕をチェックします。

画面表示内容	動作	Netflix 仕様	チェック項目
字幕表示時間制限 (最低 0.5 秒)	エラー	最低 0.5 秒以上必要。	プロジェクトのフレームレートに合わせて 30DF、30NDF … 15 フレーム未満 24Fr、24P … 12 フレーム未満 25Fr … 13 フレーム未満 になっていないか確認する。

●ユーザー設定

－[メンテナンス]タブのバックアップファイル・波形データファイル保存先を指定する「フォルダーの参照」ウィンドウをリサイズできるようになりました。

－ユーザー設定のリスト名に半角スペースのみの名前を登録できないようにしました。

●フォーマット設定

－フォーマットリスト名に ”<>¥:*?/¥[]” を含んだ名前を登録できないようにしました。

－フォーマットリスト名に半角スペースのみの名前を登録できないようにしました。

●レンダリング

－映像の保存先を指定する「フォルダーの参照」ウィンドウをリサイズできるようになりました。

5) 機能修正

－映像ファイル名に英数字・日本語以外の特殊な文字（例：ハングル、中国語の漢字、特殊記号など）が入っている場合、その映像ファイルと紐づいた sdb ファイルを開こうとすると「暗号化された映像ファイルの読み込みに失敗しました」というメッセージが出る問題を修正しました。

ただし、予期せぬエラーになることがありますので、原則 sdb ファイル名・映像ファイル名には英数字・日本語以外の文字を使用しないようにしてください。

－新再生モードにおいて、解像度が 1280×720 の映像を利用した場合に、一定の条件下で映像表示のスケールリング（拡大・縮小表示）に不具合が出ていた問題を修正しました。

本修正は、2017 年 8 月 1 日にお知らせしている問題の修正になります。

－字幕ウィンドウ上で字幕を複数選択した際、字幕番号の文字色が黒くなる問題を修正しました。

－映像と紐づいた sdb ファイルを開いた際に「応答なし」となりソフトが終了してしまうことがある問題について改善しました。

－24Fr のプロジェクトにおいて、デュレーションのタイムコードが 1 フレーム多くまたは少なく表示されることがある問題を修正しました。

●字幕の分割

－字幕の分割後、波形ウィンドウのフォーカスと字幕ウィンドウのフォーカスが一致していない問題を修正しました。

一字幕表示時間の強制未満のデュレーションで分割を行おうとして「字幕の長さが制限以下になるため分割できません。」のエラーメッセージが出た際、[OK]をクリックしてメッセージを閉じた後に波形ウィンドウ上のカーソルからフォーカスが外れてしまう問題を修正しました。

●字幕情報一括削除

一削除対象に「字幕」を選択して字幕を一括削除した際、ルビや組文字、位置情報など一部のフォーマット設定だけが残ってしまう問題を修正しました。本バージョンから、字幕を一括削除するとフォーマットも削除されてデフォルトフォーマットに戻ります。

※旧バージョンで作成した一部のフォーマット設定が不正に残った状態（例：組文字を付けていないのにフォーマット検索すると組文字がヒットする、等）の sdb ファイルを開くと「パラメータが間違っています」とエラーメッセージが出ることがありました。その場合、字幕情報一括削除の「フォーマット情報（ルビ含む）」でフォーマット情報を削除してください。

●ルビ

一後ろに改行のある行末の文字にルビを付けた後、その文字を削除した場合に、ルビだけが内部的に残ってしまう問題がありました。残らないよう修正しました。

過去バージョンで作成し、内部的なルビが残った状態の sdb ファイルを開いた場合は、該当の字幕（ハコ）で何らかの文字入力／削除をすると、残っていたルビが削除されます。

内部的なルビは、最終チェックの「ルビ有」で検索した際にヒットします。検出には最終チェックをご利用ください。

●見直し用リスト（Excel）エクスポート／申し送りリストエクスポート

一1行目の末尾と2行目の先頭など、改行を挟んでルビが連続していた場合に片方のルビが出力されない問題を修正しました。

一ごくまれに Microsoft Excel がインストールされているにも関わらず、見直し用リスト／申し送りリストをエクスポートしようとする時「Excel がインストールされていません」とエラーメッセージが出る問題について、出力されるよう機能強化しました。ただし、PC 側の不具合が原因の場合、本バージョンにアップデートしても改善されない場合もあります。

●置換

一「大文字と小文字を区別する」を off にしてルビの置換を実行した際、「置換して次に」をクリックしても置換されず次に進まないことがある問題を修正しました。

●sdb 検索

検索結果画面にてルビの順序が入れ替わってしまうことがある問題を修正しました。

●ショートカットキー設定

ー以下のショートカットキーでの再生が正常に動作しない問題を修正しました。

逆再生／停止

2 倍速再生

2 倍速逆再生

1/2 倍速再生

1/2 倍速逆再生

※従来通り SSTG1 モードは 2 倍速逆再生、1/2 倍速逆再生をサポートしていません。
通常速での逆再生となります。

6) アップデータのダウンロード

! 初めて SSTG1Lite2 をインストールする場合は、インストーラダウンロードより、最新バージョンのインストーラをダウンロードして下さい。アップデートは不要です。

ユーザーページよりログインし、「アップデートダウンロード」より、該当のバージョンのアップデートデータをダウンロードしてください。

「アップデートダウンロード」メニューより、[ダウンロード] ボタンを押して、ファイルをダウンロードします。

アップデート名	バージョン	リリースノート	アップデート
SSTG1Lite2アップデート	3.1.9	SSTG1Lite2_Ver.3.1.9リリースノート	ダウンロード
SSTG1Lite2アップデート	3.1.1	SSTG1Lite2_Ver3.1.1リリースノート	ダウンロード
SSTG1Lite2アップデート	1.1.3	SSTG1Lite2_Ver.1.1.2リリースノート	ダウンロード

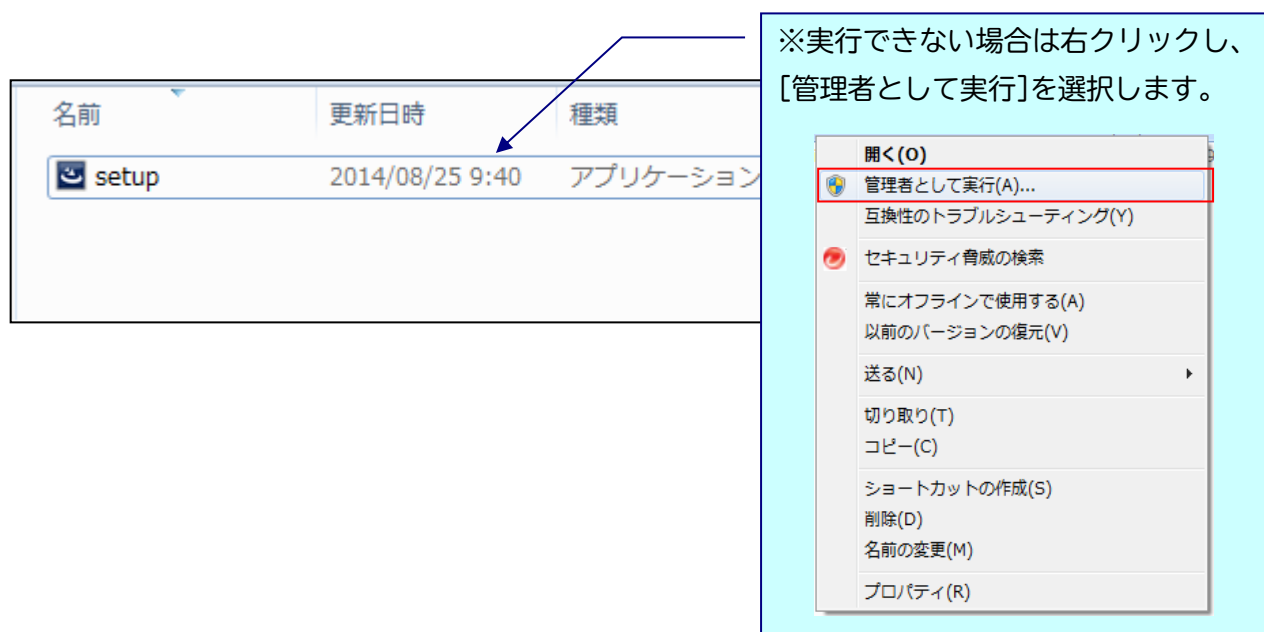
一番上が最新バージョンです。

アップデート方法はダウンロードファイルの中に入っているアップデートガイドをお読みください。

7) アップデート手順 (Ver3.1.1 未満からのアップデート)

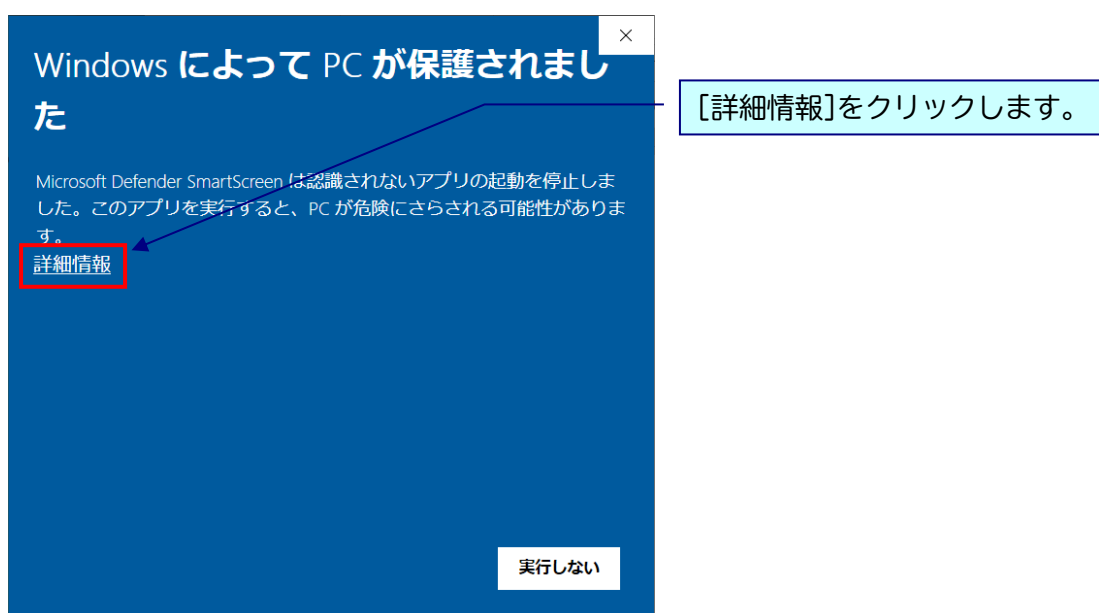
 アップデートする時は、dongleをさし込まないでください！

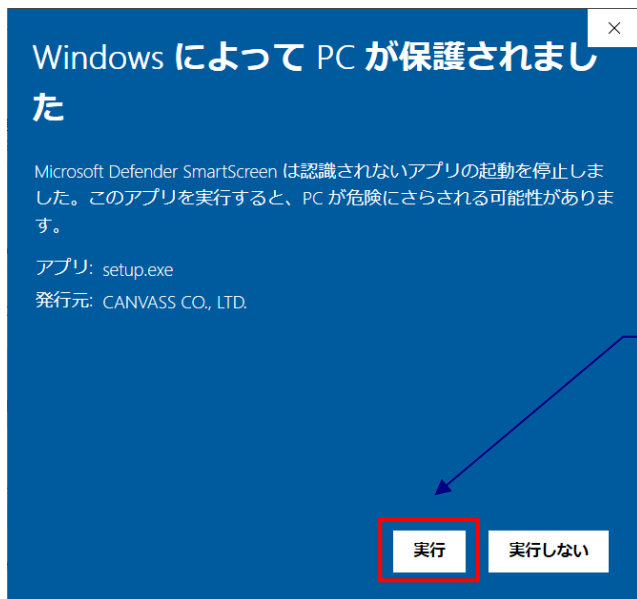
ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



 実行時に「Windows によって PC が保護されました」と出る場合

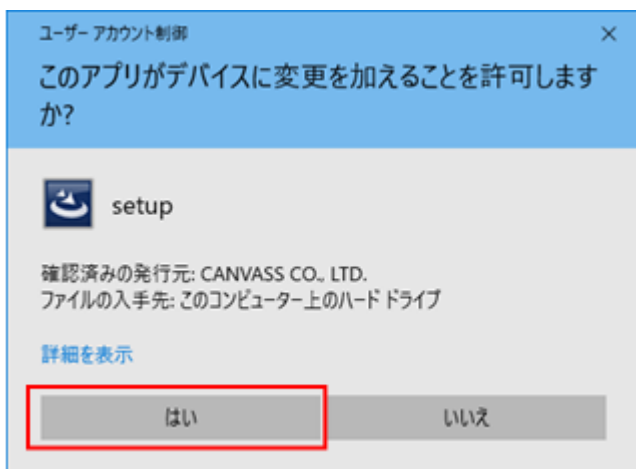
ダウンロードした PC のセキュリティ設定によっては下記の画面が出る場合がありますので、手動で実行を許可してください。





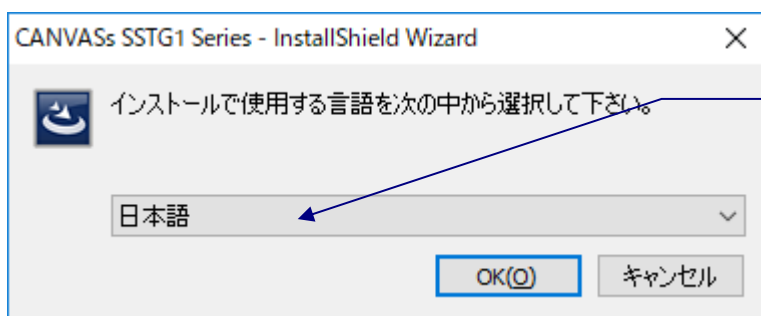
[実行]をクリックします。

! 実行時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。



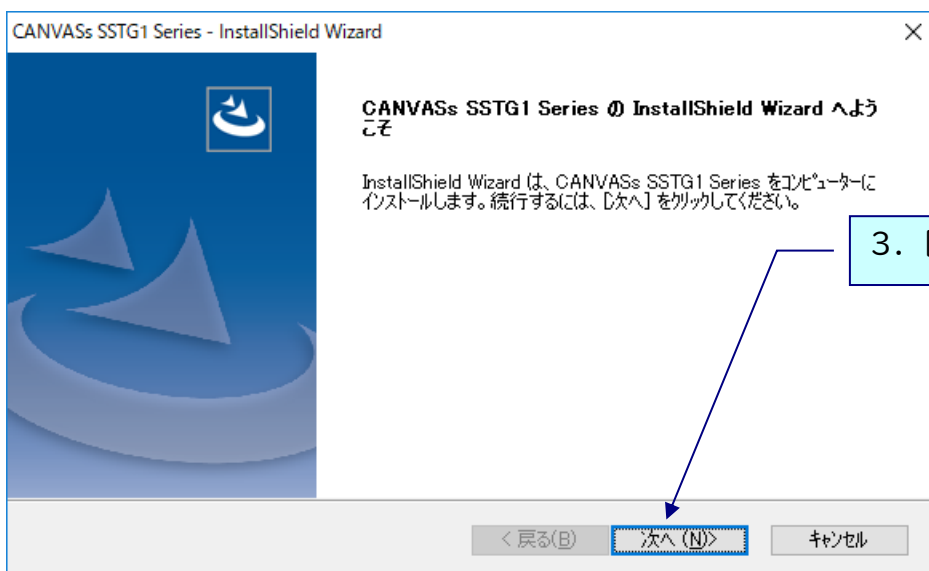
※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。

操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。

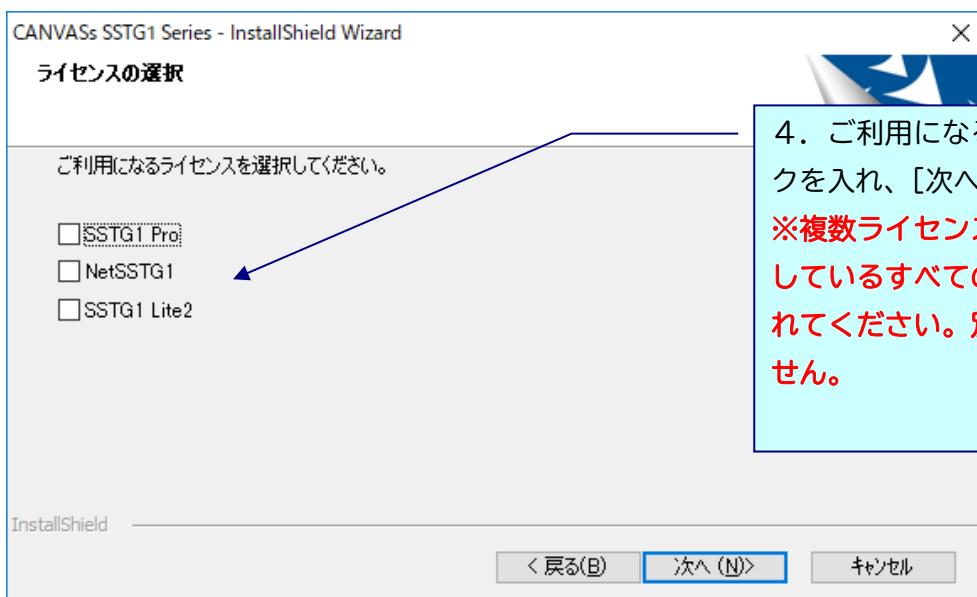


2. プルダウンから言語を選択し、[OK]をクリックします。

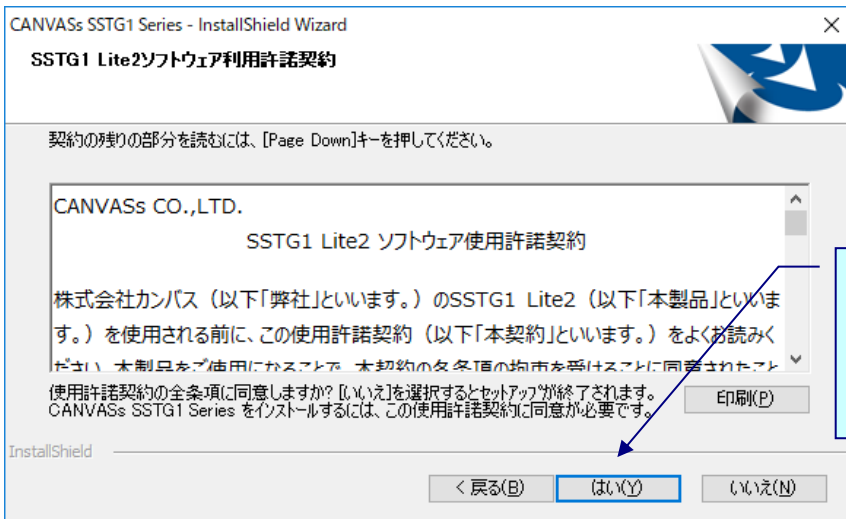
※以下は「日本語」を選択した場合の画面ですが、内容は英語の場合も同様です。



3. [次へ]をクリックします。



4. ご利用になるライセンスに正しくチェックを入れ、[次へ]をクリックします。
※複数ライセンス所持されている場合、所持しているすべてのライセンスにチェックを入れてください。別々にアップデートはできません。



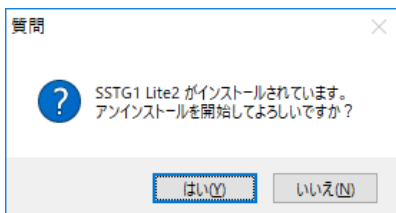
5. [利用許諾契約]の内容をご確認いただき、[はい]をクリックします。

! 4で複数ライセンス選択していた場合、各ライセンスの利用許諾契約が表示されます。

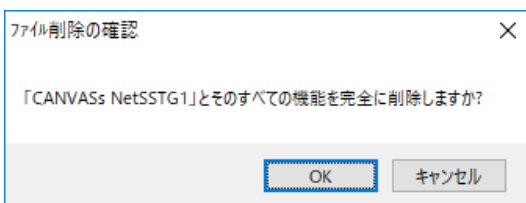


6. [次へ]をクリックします。

下記のメッセージが出ますので[はい]をクリックし、アンインストールを実行してください。
 ※フォーマット情報、ショートカットキー設定などは消去されません。

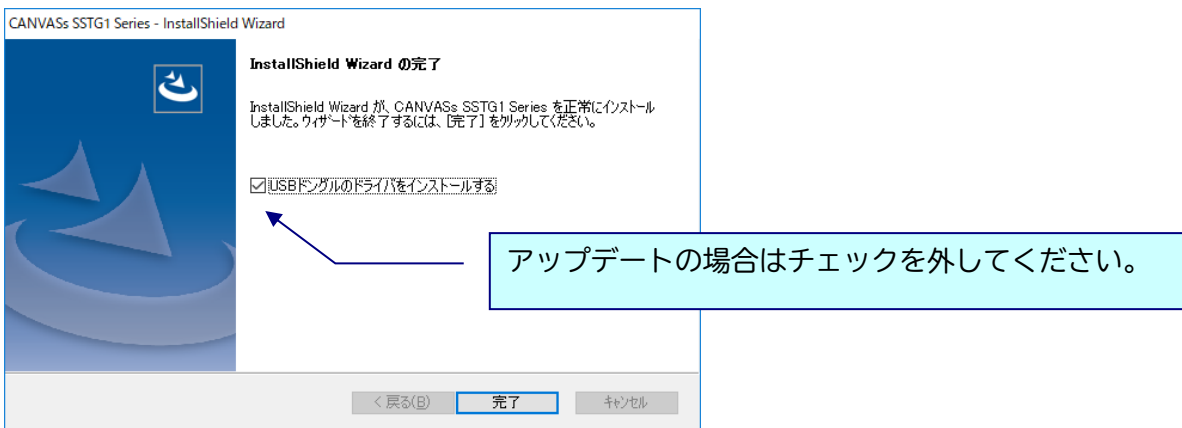


[はい]をクリック



[OK]をクリック

インストールがすべて完了すると、下記画面が表示されます。



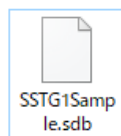
「USB ドングルのドライバをインストールする」の**チェックを外し**、[完了]をクリックしてインストールを終了してください。

⚠ アップデート完了後は必ずパソコンの再起動を行ってください。

※Ver3.1.1 から、プログラムの名前が一部で「SSTG1 Series」と表示されます。
ソフトをアンインストールする際は、「CANVASs SSTG1 Series」を選択してください。

また、[ヘルプ]–[バージョン情報]に表示されるプログラム名も「CANVASs SSTG1 Series」となりました。お問い合わせの際は、こちらのプログラム名とバージョン情報をお知らせください。

⚠ アップデート後に sdb ファイルのアイコンが白くなってしまう場合



アップデート後、sdb ファイルのアイコンが白くなってしまった場合は、下記の方法でプログラムの関連付けを行ってください。

【方法1】

白いアイコンをダブルクリックすると、「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で [OK] をクリックしてください。

【方法 2】

方法 1 でプログラムの選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は、白いアイコンの sdb ファイルを右クリック→プロパティを開いてください。

①[全般]タブの「プログラム」の[変更]をクリック

②「このファイルを開く方法を選んでください」とプログラムの選択画面が表示されます。その中に「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択し、「常にこのアプリを使って.sdb ファイルを開く」にチェックを入れた状態で[OK]をクリックしてください。

③②にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「その他のアプリ」をクリックしてください。「SSTG1Unified.exe」が存在する場合はそちらを選択してください。

④③にて選択画面に「SSTG1Unified.exe」が出ない場合は「この PC で別のアプリを探す」をクリックしてください。

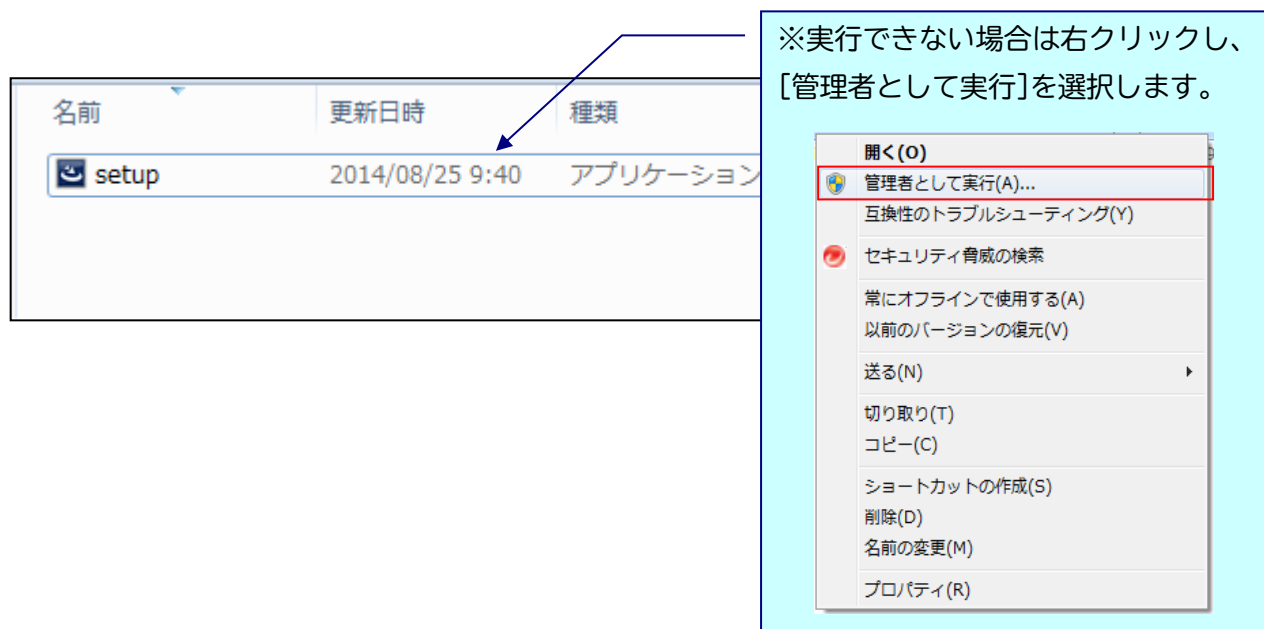
⑤C ドライブ配下の[Program Files (x86)]-[CANVASs SSTG1 Series]フォルダを開きます。

⑥「SSTG1Unified.exe」を選択し[開く]をクリックしてください。

8) アップデート手順 (Ver3.1.1 以上からのアップデート)

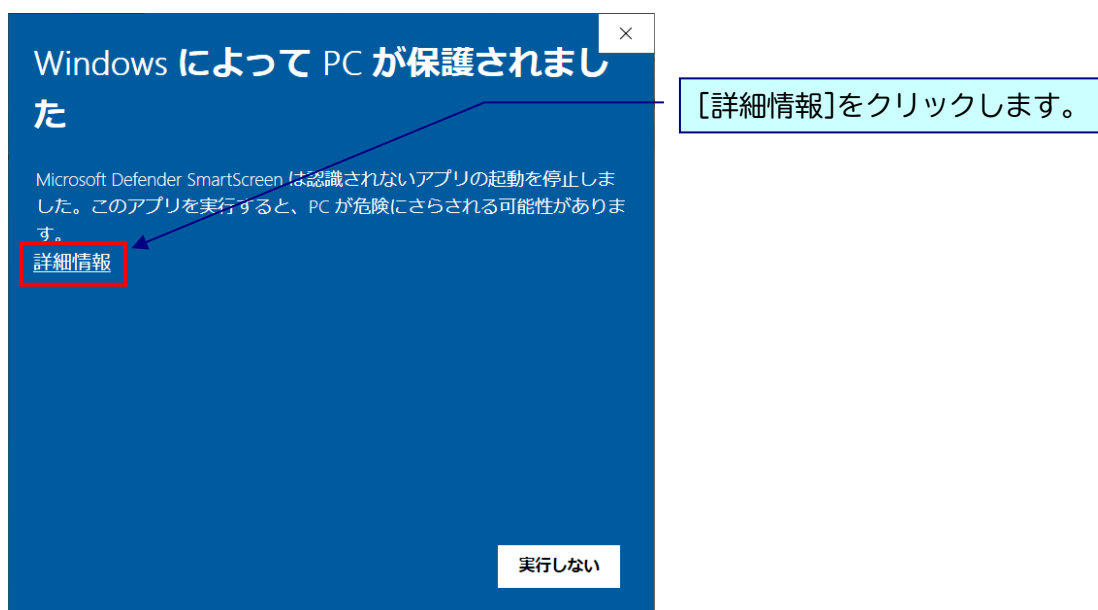
⚠ アップデートする時は、dongleをさし込まないでください！

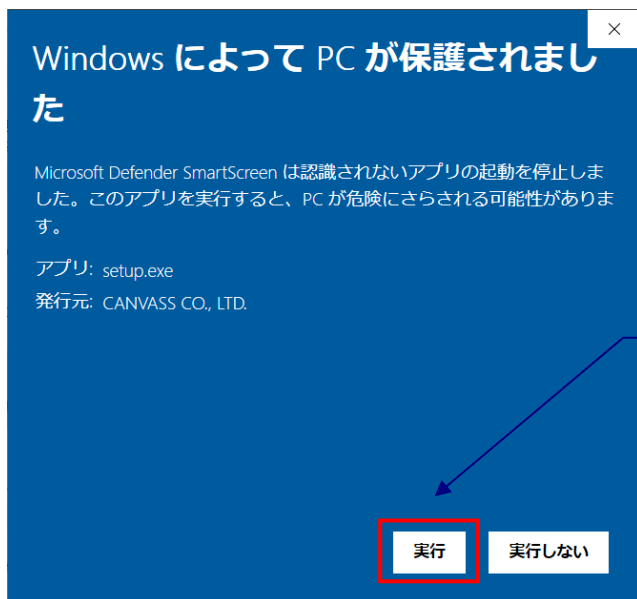
ダウンロードしたファイルを**解凍**または**展開**し、フォルダ内にある[setup (.exe)]をダブルクリックします。



⚠ 実行時に「Windows によって PC が保護されました」と出る場合

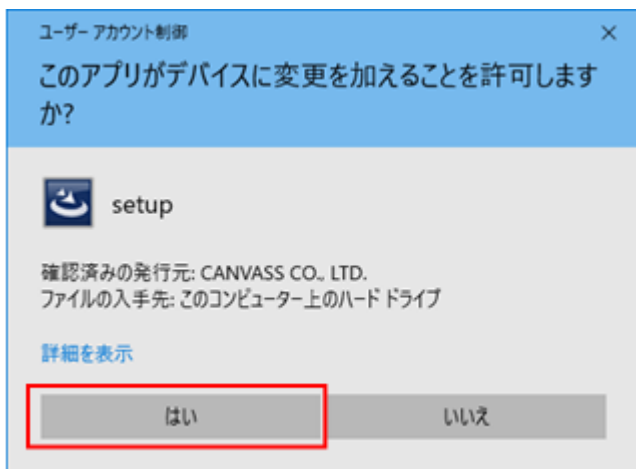
ダウンロードした PC のセキュリティ設定によっては下記の画面が出る場合がありますので、手動で実行を許可してください。



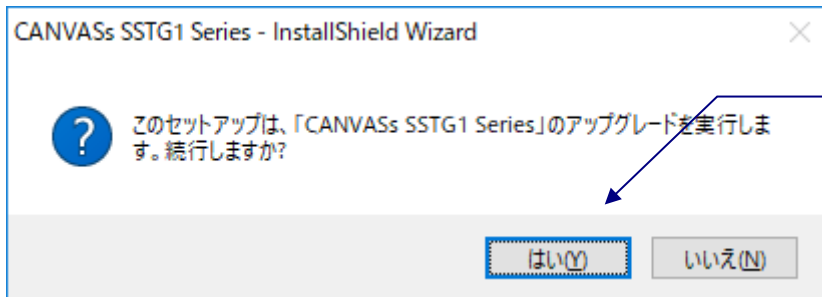


[実行]をクリックします。

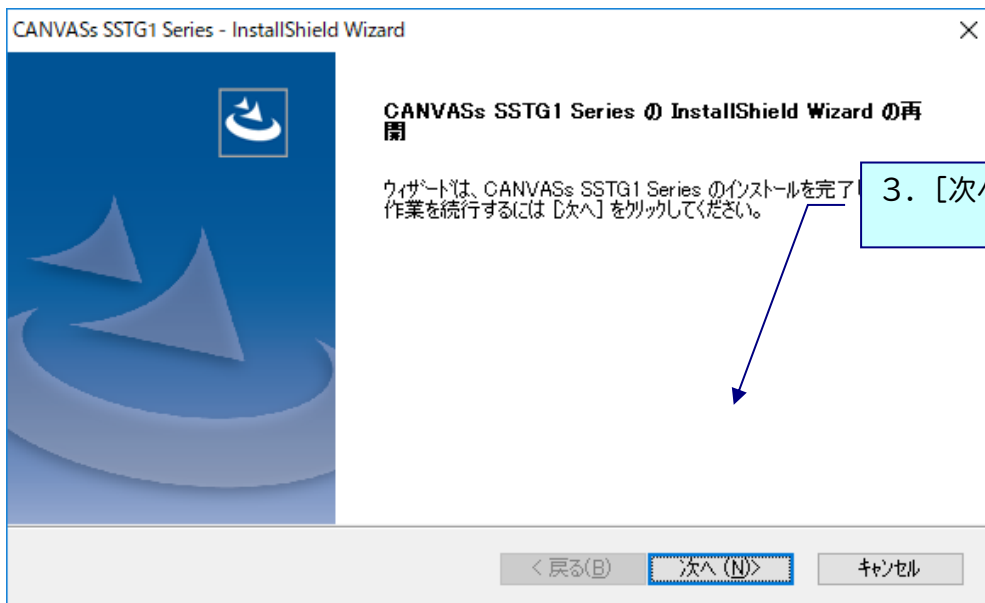
! 実行時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合
表示された場合は、[はい]をクリックし次へ進んでください。



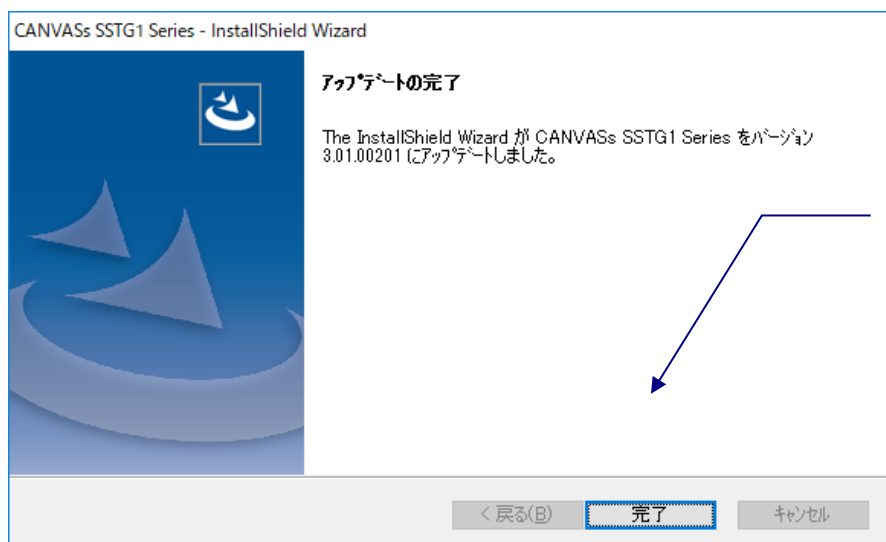
※黒い画面が出たのち、以下の画面がすぐに出ない場合があります。
操作を行わず、画面が出るまでしばらくお待ちください。



2. [はい]をクリックします。



3. [次へ]をクリックします。



4. [完了]をクリックします。

⚠ アップデート完了後は必ずパソコンの再起動を行ってください。

9) 再インストール時のチケットに関する注意点

SSTG1Lite2 使用中の PC で、いったんアンインストール後に再度インストールして起動すると、認証画面が表示されることがあります。

このとき、現在利用中のチケットとは別に未使用のチケット（ストック）があると、現在のチケットが有効中であっても、ストックのチケットが使用開始されます。

チケットのストックがある状態ではアンインストール→再インストールを行わないよう、くれぐれもご注意ください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

10) 再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点

Ver. 3.1.2にて、アンインストール後に再度インストールした場合、アンインストール前にお客様が設定されたユーザー設定やショートカットキー設定が残るよう改修しましたが、Windows の機能強化により、アンインストール時にこれらの設定がリセットされ、初期状態に戻ってしまう場合があることが分かりました。

アンインストールからの再インストール後に設定を確実に引き継ぐには、下記手順を行ってください。

※アンインストールを手動で行わない通常のアップデートであれば問題ありません。

※本件はバージョンに関係なく発生します。本バージョンをお使いでない場合もご注意ください。

■Ver3.1.1 以上をご利用の場合

ショートカットキー設定画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※ユーザー設定、フォーマット設定、最終チェック項目フィルタ、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。

■Ver3.1.1 未満をご利用の場合

ユーザー設定、ショートカットキー設定を各画面からエクスポートし、再インストール後、同画面から設定ファイルをインポートしてください。

※フォーマット設定、最終チェックのチェックワードリストなど、あらかじめリストに保存してあるものは設定が消えることはありません。

1 1) ドングル更新手順

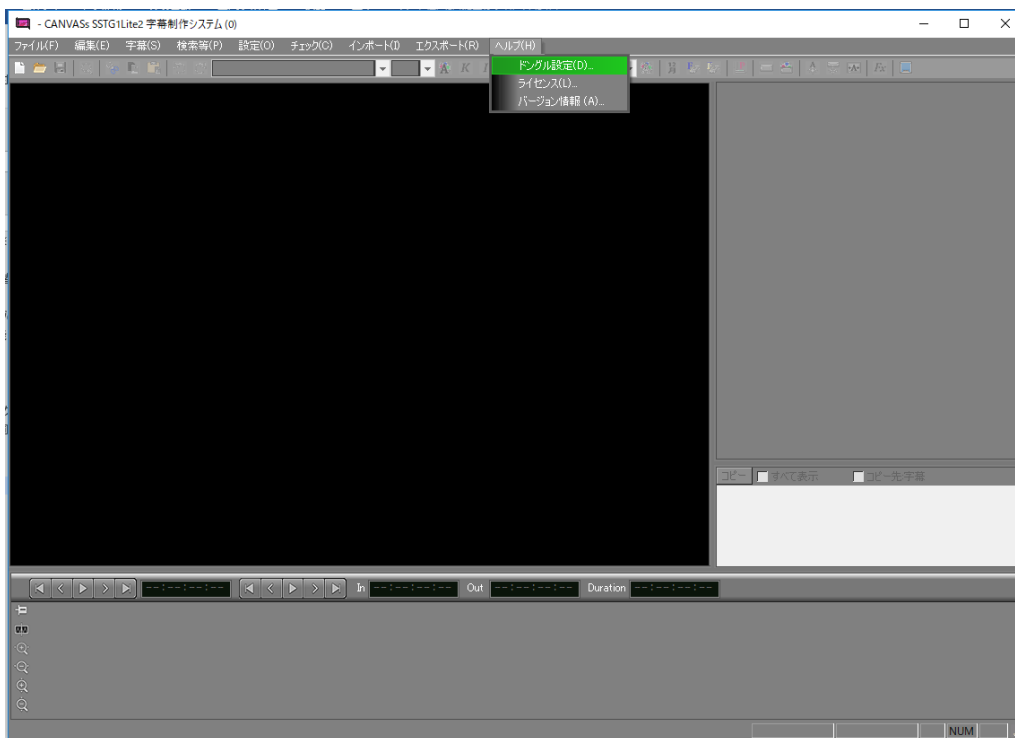
***本手順は Ver1.1.1 をご利用のユーザー様のみ行ってください。**

***更新するドングルを挿してください。**

①SSTG1Lite2 をダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないで下さい。

②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。

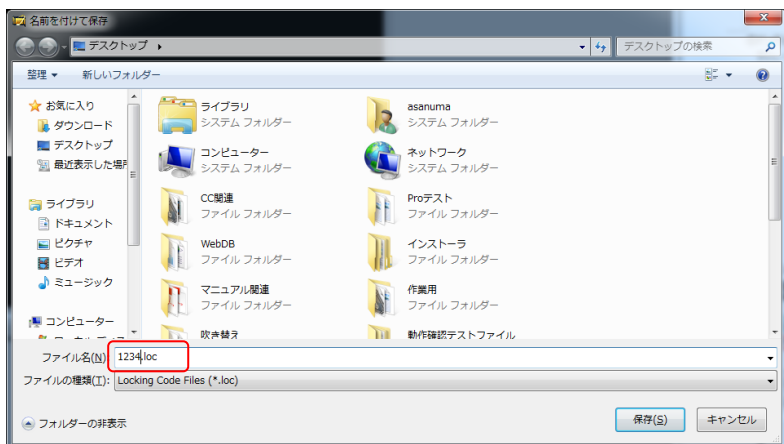


③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。

- ⑤ ドングル番号（ i + 数字またはアルファベット混合の4桁の番号）をファイル名として入力し、保存先を指定してください。



※ファイル名にあらかじめ「*.loc」が入っている場合は削除して、名前を付け直してください。

- ⑥ ロッキングコードが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



- ⑦ 保存先に、.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。

メールアドレス sales@canvass.co.jp



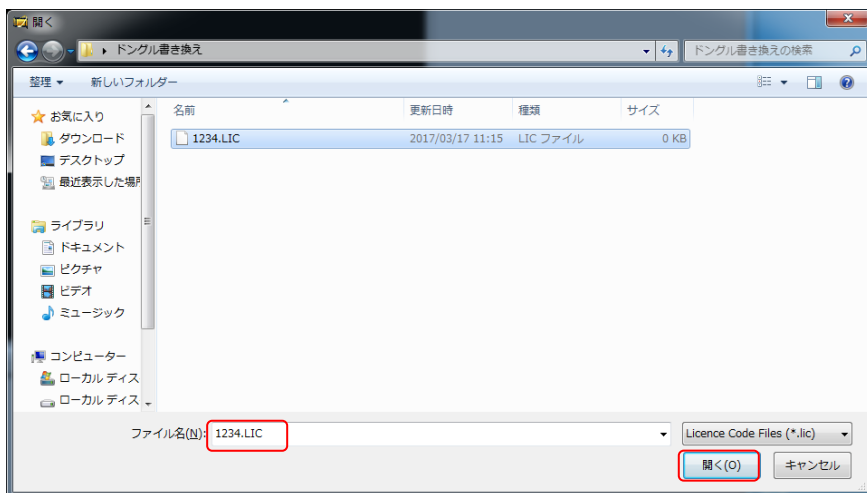
- ⑧ 株式会社カンバスから、.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



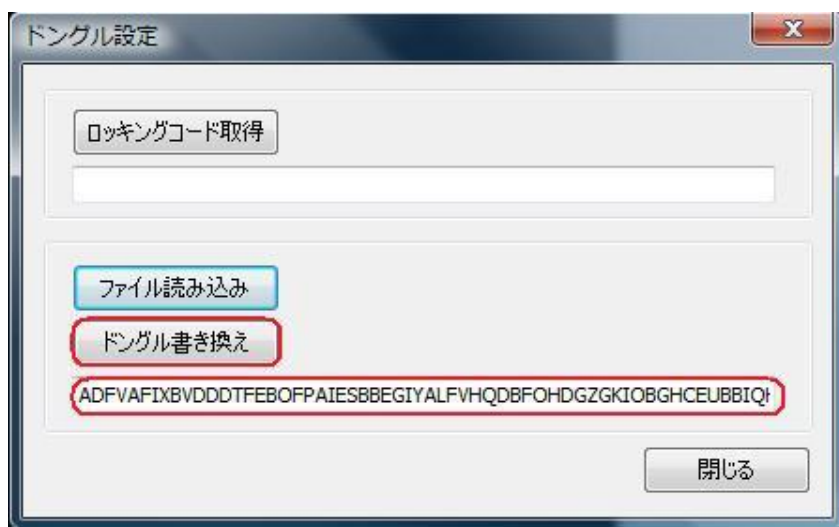
⑨②を参考に、[dongle 設定] のダイアログを表示し、[ファイル読み込み] をクリックします。



⑩. lic ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



⑪ ライセンスコードが入っていることを確認して、[dongle 書き換え] をクリックします。



⑫ dongle の書き換えが完了しました。

【ご注意下さい！】

更新済み dongle では Ver1.1.1 はご利用いただけません。

複数のパソコンでご利用されている場合、dongle 更新が完了しましたら、すべてのパソコンの SSTG1 Lite2 を最新バージョンにアップデートしていただくようお願いいたします。